

## 第7回 日本クラブユース女子サッカー大会 (U-18)

杵築 歩那

[日程] 2025年7月27日 研修

7月28日 研修、1回戦

7月29日 研修、準々決勝

7月30日 研修

[会場] あずまサッカースタジアム

ロード宮城総合運動場陸上競技場

玉村町北部公園サッカー場

共愛学園総合グラウンド

大野工業大胡総合運動公園陸上競技・サッカー場

前橋工業高校

群馬県立敷島公園補助陸上競技場

前橋商業高校

[参加審判員] 東北1名(1級)、関東3名、中国2名(杵築、伊藤)、  
四国1名、九州1名

[参加INS、審判マネージャー]

浅井 昭子氏、西野 照美氏、真殿 三加氏、渡辺 典子氏

手代木 直美氏、岡野 宇広氏、山口 博司氏

[割当]

7月28日 18:00K.O @群馬県立敷島公園補助陸上競技場 主審 INS: 浅井昭子氏  
ジェフ千葉レディース(関東) VS 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋(東海)

7月29日 18:00K.O @玉村町北部公園サッカー場 主審 INS: 手代木直美氏  
INAC神戸レオンチーナ(関西) VS 大宮アルディージャ VENTUS(関東)

[大会振り返り]

7月27日 研修

- ・大会要項の確認
- ・グループワーク
- ・スケジュール確認

7月28日

研修 ・競技規則改正について（岡野宇広氏）

ドロップの時の再開場所

ゴールキック時の8秒ルール

- ・落雷、負傷の対応（西野照美氏）

雷ナウ、Web 確認

RCSR(落雷対策)

R:調べる (Research) C:チェック (Check)

S:中止 (Stop) R:調べる (Research)

- ・負傷の対応

競技規則5条参照

- ・ディスカッション（再開方法）

FK時のマネージメントについて

- ・kick off 時間を守るためにについて

時間守るためにできること→時間伝える、声かけ

キーワード：**準備**

試合（1回戦）○よかったこと、△改善するところ

○FKのクイックの保証

○スタミナ

△時間管理（kick off）

△トラブルが起きた時焦ってベストな対応ができなかった

△GK前の小競り合いがあるときにパブリックに注意するべきだった

△タッチアウトした時のシグナルするときの体の向きをと大きくゆっくりすること



7月29日

研修 ・1回戦の振り返り

不安だったとこの共有

時間管理について、CKのマネージメント、FKのマネージメント

SPAについて、戦術理解、競技規則の改正について

試合（準々決勝）○よかったとこ、△改善するとこ

○時間管理（kick off、終わる時間）

○PKの判定（PA内のSPAでボールに当たったためNCのPK）

△ポジショニング

出しどこと誰に出すのか理解する

後ろに下がることで次のポジションとるのが遅れる→横や前に動く

△マネージメント

パブリックに注意するタイミングを逃さない

フラストレーションためた選手にどう声掛けするか

マネージメントする理由

ファールが起きる前に**予防**するた



7月30日

研修 ・アイスブレイク

1～20までの数字を協力してかぶらないように言っていくゲーム

・フィードバック

- ① チャレンジしたこと
- ② やってみてどうだったか
- ③ できたこと

共通してたこと：時間管理（試合の終わり方）

マネジメント（自分の行動が伝わっているか）

予測、見通しを立てる（イメージ力、見通す力）

ファールの判定（サッカーIQ、競技規則の理解）

・4日間通しての振り返り



〔研修会を終えて〕

この度は全国大会に推薦してもらい参加できたことに感謝申し上げます。この大会でレベルの高い試合を吹かせてもらったり、他地域の方たちとかかわることができとてもいい体験をすることができました。

試合では主審としての立ち振る舞いが課題となりました。ONの部分では選手とのコミュニケーション OFFの部分では時間の管理、容量の悪さです。もっと審判として自主性を持ち毅然とした行動をとる必要があると感じました。今回の大会で初めて8秒ルールを適応し私たち審判も慣れないことを試合でするからこそ丁寧にコミュニケーションとる必要があると思いました。

研修では事象に対する意見交換をしたり今回の大会でのキーワードであった〔準備〕について話し合いができ自分の中での引き出しが増えました。自分の未熟な部分を今回の大会で学んだことを生かし改善できるようにします。